

第 15 回 技術フォーラム開催要領

主催：公益社団法人 日本技術士会 北海道本部 事業委員会

テーマ

「技術士が考える“生産性革命”」

日時：平成 29 年 2 月 27 日(月) 13:30~17:00

会場：ホテル札幌ガーデンパレス (2F 丹頂)

札幌市中央区北 1 条西 6 丁目

TEL 011-261-5311

★参加のご案内

参加希望者は、氏名（ふりがな）、部門、所属、参加料区分、情報交換会参加・不参加を明記し、平成 29 年 2 月 20 日（月）までに、下記宛 FAX もしくは E メールでお申し込みください。

会場の都合上先着 120 名となりますので、お早めにお申し込み下さい。

○参加料区分

①一般市民：無料、②学生（CPD 対象者を除く）：無料

③CPD 無料参加券持参技術士・技術士補：無料

④技術士会会員：1,000 円、⑤会友：1,500 円

⑥技術士・士補の有資格者で非会員：2,000 円

⑦その他（要 CPD 押印者）：2,000 円

※無料券使用は事前申込の先着 20 名様のみ。

○情報交換会

フォーラム終了後に情報交換会を開催します。参加有無についてもご記載お願いします。

場所：ホテル札幌ガーデンパレス（2F 白鳥）

時間：17:30～（会費 3,000 円）

○申込先：日本技術士会北海道本部 事務局（長谷川、岸本）

E-mail：hkd-eng@ipej-hokkaido.jp

FAX：011-801-1618

【開催趣旨】

石井啓一国土交通省大臣は、2016 年を「生産性革命元年」と銘打って、人口減少による労働供給の制約を打破する「生産性革命」の具体化に踏み出すと宣言しました。技術士が関わるプロジェクトにおいても、生産性向上にかかる取り組みは重要な課題です。また、そこには以下の視点が必要と考えます。

- 「技術」-高度化する技術を上手に活用する生産性向上
- 「参画」-プロジェクトへの参画にかかる障害を取り除いた生産性向上
- 「働き方」-時代を踏まえた働き方の変革にかかる生産性向上

北海道においては、平成9年にピークを迎えて以降、現在も全国を上回るスピードで人口減少が進んでいます。また、少子高齢化のため年齢構成比では、65歳以上年齢が年少人口の2倍を超えました。

そのような背景の中、生産性を高める取り組みとして、進展が著しいICTの有効活用や、建設生産システムにおける生産性を目論むi-Constructionへの転換も実行段階にあります。さらには、男女共同参画社会の実現は社会の多様性と活力を高め、我が国経済が力強く発展していく観点や、男女間の実質的な機会の平等を担保する観点から極めて重要であります。

本フォーラムでは、「技術士が考える生産性革命」をテーマとした基調講演、一般課題において、「技術」「参画」「働き方」を一連の流れとして着目し、生産性向上を考えます。

我々技術士が、生産性革命を着実に遂行することで、魅力ある職業としての人材育成・確保などの環境整備の向上も図ることが可能です。技術士が関わるプロジェクトの生産性向上について活発な議論を交わしたいと思います。

講演プログラム

13:30～13:35 開会挨拶 日本技術士会北海道本部 本部長 能登 繁幸

第1部 基調講演：「技術」「参画」「働き方」からの生産性革命

13:35～14:15 講演1「本道における人口減少問題に対する取り組み」
北海道 総合政策部 地域創生局 地域戦略課 主幹 大野 哲弘 氏

14:15～14:20 質疑応答

14:20～15:00 講演2「建設業における生産性革命」
北海道開発局 事業振興部 機械課 機械施工管理官 木下 豪 氏

15:00～15:05 質疑応答

15:05～15:15 休憩

15:15～15:55 講演3「働き方改革による生産性革命」
日本データサービス株式会社 環境技術部 次長 田原 さゆり 氏

15:55～16:00 質疑応答

第2部 一般課題：「技術士が考える生産性革命」

16:00～16:30 話題1「モノづくりの変遷を通じた生産性向上」
株式会社日立産機システム 北海道支店 青木 信成 氏

16:30～16:35 質疑応答

16:35～16:55 ディスカッション

16:55～17:00 閉会挨拶 日本技術士会北海道本部 事業委員長 栂澤 勝則

17:30～ 情報交換会（2F白鳥）

(※上記のセミナーの内容は、一部変更になることがありますので予めご了承下さい。)